

丹後織物

No.
839

2014.9.15

本年度の目標

- 機業振興及び経営安定
- 産地ブランドのPR強化

TANGOORIMONO

発行所 丹後織物工業組合 京都府京丹後市大宮町河辺3188 TEL0772-68-5211 FAX0772-68-5300 <http://www.tanko.or.jp>

中央加工場新排水処理施設 着工



地鎮祭の様子



精練後の排水処理を行う処理施設は、その処理水を河川に直接放流することもある管理に大きなコストと労力を掛けていくところですが、施設の老朽化が進むにつれて修繕経費が嵩み、また建設当初の処理能力のままで維持管理面でのロスも問われていました。

昨年、加工量に見合った最適の処理施設について先進地の視察等も含めて検討を進めてきましたが、今春の総代会で施設の更新について承認を得て設備メーカーを決定し、このほど着工の運びとなりました。

去る8月4日、建設等工事関係者、渡邊正義理事長他組合役員、田中秀志中央加工場運営委員長等の出席のもと、敷地内に鎮座する豊野神社において地鎮祭が挙行され、工事の安全を祈願しました。

なお新処理施設は、本年12月に完成、1ヶ月の試運転を経て来年度2月に正式稼働の予定です。



現排水処理場

主な内容

排水処理施設概要	2	丹後ファッションウィーク事業	8
丹後地区絹織物最低工賃改正	4	くろーずあっぷ・丹後人	9
2014きものまつり	6	職場訪問	9
第65回丹後織物求評会募集要項	7	丹後の職人認定制度	10

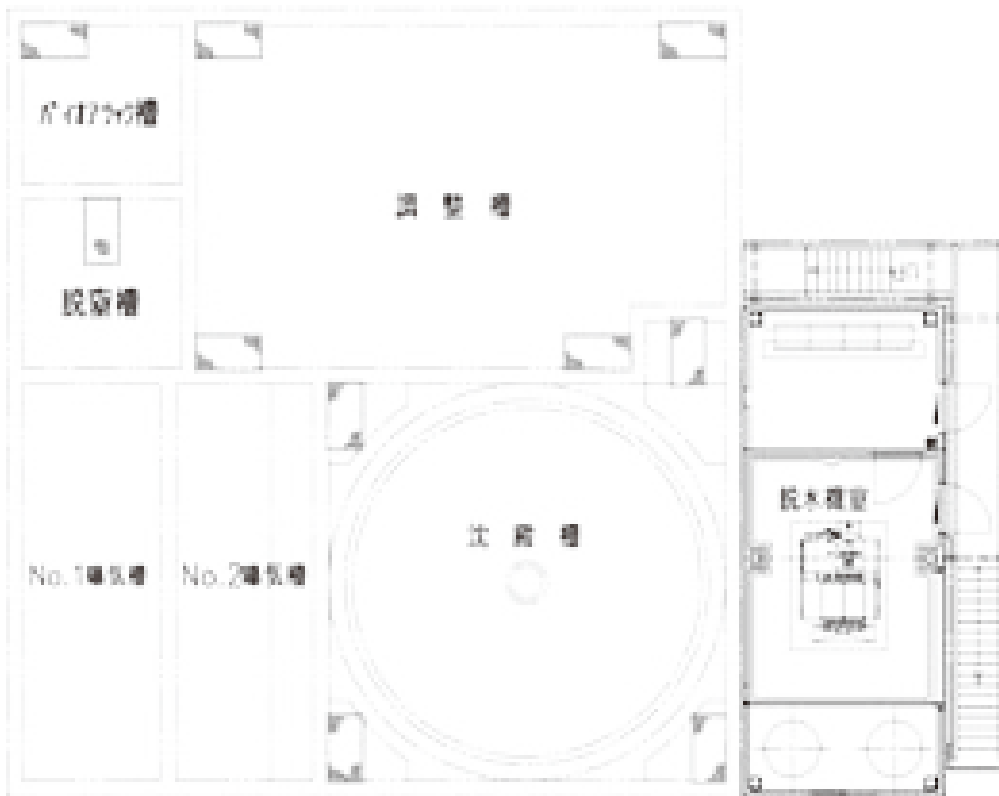
中央加工場排水処理 施設概要

現在稼働している排水処理設備は、昭和42年中央加工場建設当時の入荷量に合わせた排水量設計となっ

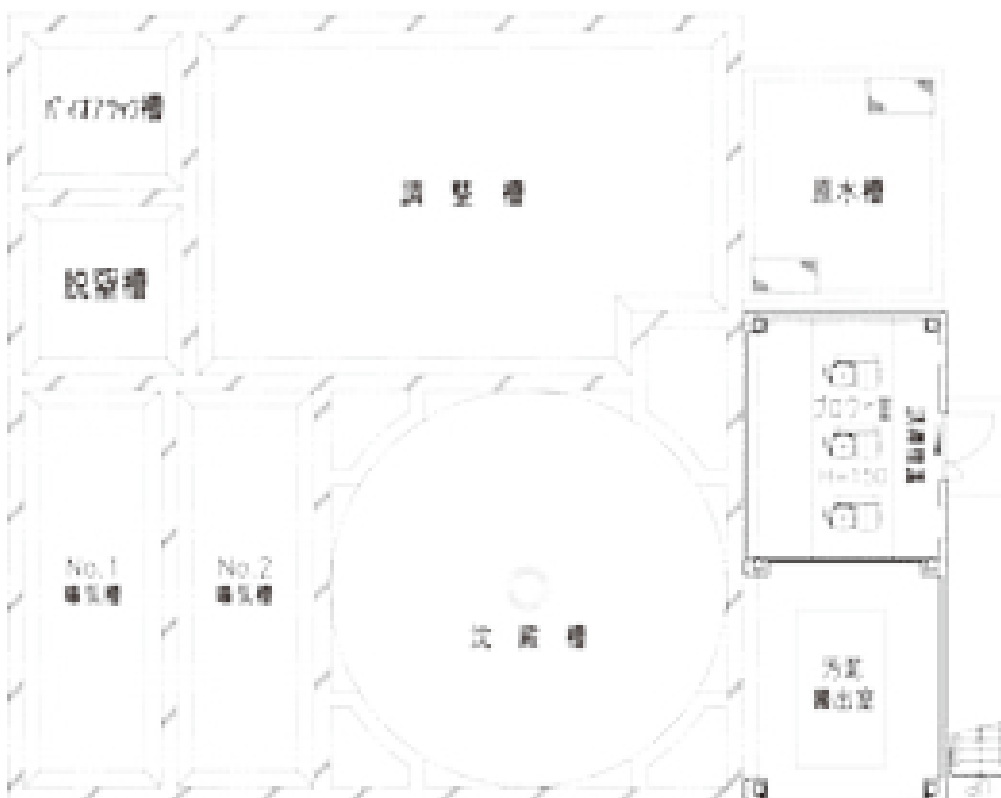
ており、処理能力が過大となつて安定した処理が出来ず、排水コストもその分多く掛かっている状況です。設備的にも建設当初から47年経過した中で、コンクリート構造物・パクテリアを活性化するエア配管等の設備老朽化が激しく、部分的に修繕

しても膨大な修繕費用となる見込みでもあり、今回の更新となりました。

2F 平面図



1F 平面図



平成
27年

12月
下旬

運用
開始

12月
中旬

試運
転開始

12月
中旬

工事
完了

平成
26年

8月
4日

工事
着工

工事 スケジュール



建設工事現場

新しい排水処理設備は、

〔排水処理設備規模〕

鉄筋コンクリート造 一部二階建て
タテ：17.70m ヨコ：14.90m
高さ：7.85m

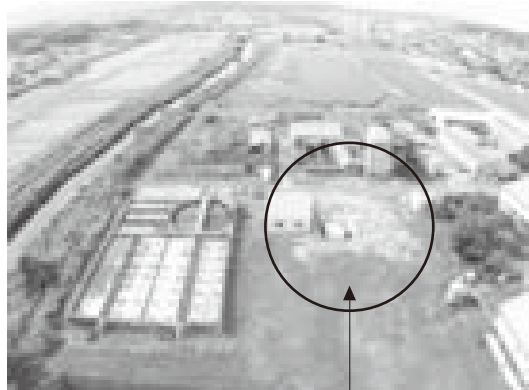
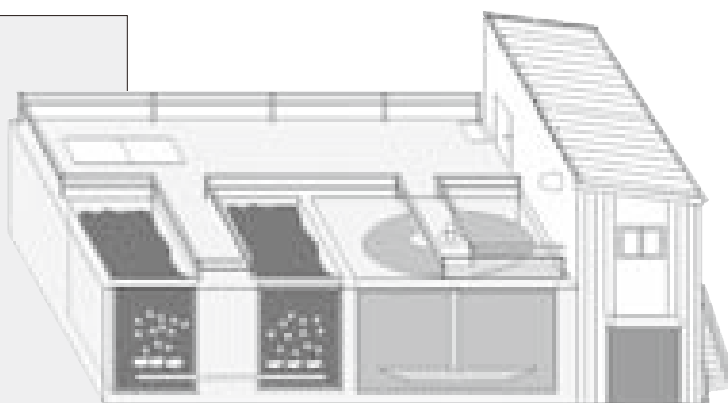
〔1日の処理水量〕 500m³/日

〔建設費用〕 145,000千円

〔工事施工者〕 日鉄住金環境株式会社

〔特徴〕

- ・コンパクト…現有施設の3分の1
- ・低コスト…排水処理経費
約4,200千円/年間削減（現行比）
- ・余剰汚泥を低減…余剰汚泥は38%低減
産業廃棄物の削減
- ・安定した高レベルの処理
…入荷量の変動による排水量変化に対応



建設地（左は現施設）

平成25年エネルギー 使用合理化事業者 支援補助金の 交付決定

平成26年3月27日付けをもち経済産業省に申請、同年5月23日に交付決定を受け建設進行となりました。また、平成26年度京都府伝統産業生産基盤支援事業費補助金にも申請中です。

●平成25年エネルギー使用合理化事業者支援補助金
約47、670千円

●伝統産業生産基盤支援事業費補助金（京都府）
約2、500千円（申請中）

丹後地区絹織物業 最低工賃が10月1日改正されます！

この10月1日より最低工賃が改正されることを受けて、8月5日京都労働局による改正に係る説明会が組合において開催されました。

午前は家内労働者向けに、また午後は後染委託者に向けて今回の改正に至るまでの経緯と実施日までの啓発取り組み、法令遵守に向けた実施後の指導などについて報告方要望がありました。

特に今回、13年ぶりに対象織物、規格の見直しや工賃額の改正がなされたこともあって、家内労働者の期待は大きなものがあります。労働条件の改善が進み、家内労働者の安定就業が確保されることにより産地の生産基盤の強化につながれば地場産業の維持発展に大きく資することになるでしょう。

組合では、特に帯を中心とする先染織物の大部分は、西陣メーカーの委託となっており、西陣の協力無くして改善は進まないことを踏まえ、各メーカー宛に協力要請の依頼文書を届けています。

また京丹後市議会では、9月の定例市議会において議員提案の「丹後織物最低工賃の周知と産地の総合的な支援を求める意見書」が可決され、監督官庁など関係先に提出の予定となっています。



京丹後市議会意見書

丹後絹織物最低工賃の周知徹底と産地の総合的な支援を求める意見書

丹後の織物業は、長年にわたり地場産業として丹後地域の経済を支えてきたが、和装需要減退や海外製品との競合など、構造的、複合的な要因により、産地基盤は大幅に縮小してきた。しかし、丹後の織物業は、今日でも丹後地域の経済や生活の基盤を支える基幹産業の一つであり、織物業の活性化は地域経済にとって重要課題である。

今般、家内労働法に基づき、丹後絹織物最低工賃が13年ぶりに改正された。この改正により、丹後織物産地としては、業界の再生と活性化、後継者育成問題など産地の諸課題について、改善の歩みにつながるとの期待が高いところである。

しかし、改正最低工賃の実効性を高め、円滑に実施されるためには、関連する業界全体に最低工賃改正についての理解が広がらなければならない。また、最低工賃改正に対応する事業者へのきめ細やかで総合的な支援もあわせて行う必要がある。

よって、国及び京都府におかれては、今回の丹後絹織物最低工賃改正を好機と捉え、丹後の織物産地活性化のため、以下の事項を実施されるよう強く要望する。

記

- 1 丹後絹織物最低工賃の改正が実効あるものとなるよう、家内労働法第14条について、丹後、西陣の製造メーカー等に周知と行政指導を徹底することと合わせ、流通段階も含め関連業界の理解が広がるよう広く周知を行うこと。
- 2 最低工賃改正への対応や生産基盤強化、後継者育成など、織物事業者等の行う取り組みについて、新規の金融支援も含む総合的できめ細かい支援策を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

要請文（抜粋）

西陣織メーカー 各位

丹後織物工業組合
理事長

最低工賃の改正に係る 西陣織メーカー各位の協力依頼について

家内労働法で定めるところの丹後地域で製織する織物に係る最低工賃は、平成13年に改正以来、業界の経営環境の改善をみないなかで今日まで据え置きで推移してきました。この間丹後地域の織物業者は、織工賃の低迷、作業効率の低下や生産量の調整により工賃収入の減少が続き、更新がままならない設備の老朽化に加え、従事者の高齢化が進むのを機に廃業を余儀なくされ、生産現場の縮小が続いております。

そうした環境の中で今回家内労働者の強い要請もあり、委託条件の改善を図り家内労働者の生活の安定に資すると共に伝統産業の維持・発展に寄与するものとして最低工賃の引き上げ決定（平成26年10月施行）がなされたところです。

最低工賃は、法的には仕事の発注元である西陣織元と丹後の機場を仲介する、丹後の代行店が委託者として適用されますが、工賃そのものは西陣の織元が裁量するものであり、西陣織元の対応無くして改善は進みません。

西陣織と称する織物は、大半丹後で生産されており、丹後の機場の縮小衰退は、同時に西陣織の衰微に繋がるものとして危惧するところであり、西陣、丹後両産地が一体となって改善の取り組みを図らねばなりません。

つきましては、生産現場の維持と織技術の継承を図り、両産地の維持発展を期すためにも今回の改正を機に、最低工賃の遵守はもちろんのこと、工賃等織現場の待遇改善に向けて格別のご配慮をいただきますよう切にお願い申し上げます。

織物工賃の試算について

織物工賃の基準になる

帯1本あたりの総越数（打込本数）を把握してますか？

この10月1日に丹後で製織される主要な絹織物の最低工賃が改正されることは既報の通りですが、実施に向けた説明会で、自己の織物に対する工賃計算が把握されていない実態が多々聞こえており、試算の目安を組合広報紙等で知らしめてほしいという要望に基づいて、今回特に緯糸（よこ糸）の打込数が複雑な帯地の計算について例示しました。

織物の越数（緯糸の打込数）の計算は、現場によって寸法の換算方法など多様であり、統一したものはないようですが、基本的な計算方法を紹介しますので各機業で応用願います。

総越数（総打込数）が把握できれば、10,000越当たりの換算値を求めることにより最低工賃に比較した織物工賃の実態把握が可能となります。

前提条件・・提示される「紋図」「織物指図書」などから把握してください。

全長（織丈） 1丈2尺4寸5分

1柄当たり（1リピート） 地越数 912本

総紋紙枚数 4,052枚

曲尺1寸間打込数 56本

（＊鯨尺1寸間換算×1.25 70本）



総越数の計算

平均丁数・・・1柄に平均シャトル（杼）が何丁走るか

4,052枚（総紋紙枚数）／912枚（地越数）

=4.44丁

①無地場の総越数・・・2,555越

○（A）奥界切＋（C）中無地＋（E）界切＝3尺6寸5分

○3尺6寸5分（総無地丈）×70本（鯨1寸）＝2,555越

②紋柄の総越数・・・27,350越

○（B）果紋柄＋（D）前紋柄＝8尺8寸

○8尺8寸（総柄丈）×70本（鯨1寸）＝6,160越（地越数）

○6,160越（地越数）×4.44丁（平均丁数）

=27,350越

上記計算により

①＋②＝29,905越・・・帯1本の総越数となります

上記規格の帯の製織に係る最低工賃額（改定後）は下記金額となります。（ただし杼箱の能力によって異なります）

○8丁以下の織機の場合

29,905越／10,000越×1,586円＝4,743円

○10丁以上織機の場合

29,905越／10,000越×2,000円＝5,981円

（規格例） 六通帯（全長1丈2尺4寸5分）

(A) 奥界切	(B) 果紋柄	(C) 中無地	(D) 前紋柄	(E) 界切
4寸	1尺3寸	2尺8寸	7尺5寸	4寸5分

あまの
はまの
だしの
世界遺産
丹波

参加者募集

1,200名 当日きものを着て参加いただける方なら誰でもOK!

申込受付中

10月19日

午前10時～午後3時30分

日本三景・天橋立周辺

(京都府)

**参加
無料**

海外旅行・高級きものなどが当たる お楽しみ大抽選会

- ◆ みんな集合!松坂本きものパレード (11/27開催)に当選者(約100名)参加
- ◆ 丹後ちりめんきものショー・ファッションショー・展示・販売・体験
- ◆ きものdeワークショップ (丹波・丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下)
- ◆ きものde和紙絵 (無料)
- ◆ 人力車に渡り参り観光船に参り (無料)
- ◆ クイズ参歩スタンプラリー・宮津参り・きもの参歩の市・フォトサービス

- ◆ 無料きもの参りコーナー (丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下)
- ◆ きものレンタルコーナー (丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下)
- ◆ 丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下
- ◆ 丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下



京都府丹波市市長
月亭太道さん登場!!
一緒に盛り上げていただきます

応募方法

ハガキ・FAX・インターネット・メール
よりお申し込みください。

- ◆ 郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえに記入ください。
- ◆ グループでの参り申し込みも受け付けておりますが申込者全員について必要事項を記入して応募ください。
- ◆ 無料きもの参り・レンタル・きものパレード参加費は参加費と別としてください。
- ◆ 参加費は、1名100円(税別)を参り券としてお申し込みください。
- ◆ きもの参り券は3名参り券1枚より申し込みください。

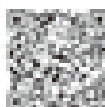
応募先

〒629-2502 京都府丹波市宮津町315番
丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下
TEL 0773-68-5300
Eメール tanko@tanko.or.jp

応募締切

平成26年10月6日(月)
(FAX・メール受付終了)

TEL 0773-68-5211 FAX 0773-68-5300
丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下



丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下

◆ 丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下

◆ 丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下

丹後きものまつり実行委員会

【丹波川上】丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下

【丹波川下】丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下

【丹波川上】丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下

【丹波川下】丹波川上・丹波川下・丹波川上・丹波川下

2014 第13回 丹後きものまつり 集まれ、K-MONON女子 K-MONON男子

秋の天橋立をきもの姿で散策 感動の一日を...

in 天橋立 京都



第65回 丹後織物求評会 出品募集

丹後産地の一大イベント「丹後織物求評会」を、11月25日(火)～27日(木)の3日間にわたり、「丹後 和の技 美伝承」をテーマに京都産業会館において開催します。初日の25日は業界関係者による審査会、26日・27日の両日は丹後織物総合展示商談会を開催し、丹後織物の技術、品質、総合力を発信します。

昨年の展示商談会では、会場内及び会期後にも出品商品に対し多くの問い合わせがあり、既存の取引先のみならず、新規の取引先との商談が成立しています。厳しい商況下ではありますが、多くのバイヤー・関係者が来場されるこの機会に販路開拓の場として組合員の皆様のご出品をお願いいたします。

**出品
募集要領**

■申込及び出品物等の期限■

1. 仮申込期限 **9月19日(金)**
2. 特別料金(染見本)の入荷期限
10月10日(金) **中央加工場必着**
※製品確認のため、白生地と染見本を精練加工後に一旦お返ししますが、染見本は10月20日(月)までに中央加工場染色課へお持ちください。
3. 本申込期限 **10月31日(金)**
4. 出品物本部搬入期限 **11月7日(金)**
※染見本、展示用巻仕立て完了状態をお願いいたします。

■出品区分及び出品点数

- 第1部 後染織物**：12点以内
無地ちりめん・紋ちりめん等きもの地(化繊織着尺含む)
※丹後統一検査合格品とします。
第2部 先染織物：5点以内
衿・帯揚・風呂敷・シヨール等
丹後のオリジナル商品とし、西陣の下請け商品は除く。
洋装生地 原則として染色品とし、ハンガー出品(長さ80cm)
(審査対象外、展示会でのブース出展のみとなります。)
丹後トリアル商品：5点以内(審査対象外となります。)
第1部から第3部までの織物等を

使用し、商品として完成されたもの。

※各部門における仮仕立・絵羽での出品については申込の際、備考欄に「仮仕立」とご記入ください。

■2 申込方法

組合総務1課へ所定の申込書によりお申し込みください。事前に出品点数等を把握するため、次の通り2段階方式とします。仮申込書には出品予定点数等、本申込書には商品名等必要事項を記入し、それぞれ申込期間内に郵送またはFAXにてお申し込みください。(申込用紙が必要な方は総務1課へご連絡いただくか、HPよりダウンロードしてください。)

■3 仕立

展示用巻仕立てにて出品をお願いします。
(巻仕立及び仕立直し代は組合が負担しますので、加工場へ出荷される際に「求評会用」とご指示ください。)

■4 染見本

(1) 第1部の出品物の内、着尺地は染見本を添付することが条件です。和装小物は白生地のみ可とします。また、染色については無地染め、またはボカシ染めに限定させていただきます。
着尺地 白生地1反につき染見本布(2m以上厳守)
和装小物 帯揚げ1本・風呂敷1枚・シヨール1枚・衿1掛

※和装小物については、展示商談会にて染色方法を限定しない染見本を展示することができます。
(2) 組合加工場にて無地染めを行う場合は、次の条件のもと求評会出品物に限り特別料金にて加工を行います。

○出品物1点につき1点(枚)の加工料金とします。

○色は組合指定の6色です。

※色については、組合ホームページまたは染色課にてご確認ください。なお、ホームページでは若干色の違いが生じるため、実際の色は入荷時に染色課にてご確認ください。

※結反して染めるため、生地によっては若干色の違いが生じる場合がありますがご容赦ください。

○白生地(展示用)と染見本(染サンプル生地)の生機を一緒に中央加工場へ入荷してください。

○指定色以外及び指定入荷期日を過ぎたものに関しては、通常の料金となります。

○入荷の際、求評会用染見本である旨及び色、仕上幅を必ず連絡してください。

■5 個別商談ブース

より高度な商談の機会を提供するため、会場内に個別ブースを設けます。出展を希望される方は仮申込時にその旨を記入し申し込んでください。ただし、設置小間数に限りがあるため、応募多数の場合は希望者による抽選となります。

○出展ブース 1小間
2,400×1,800mm

○出品物 特に制限なし
○準備等 自社ブースの展示及び撤収は各自で行うものとします。

○アテンド 出展者は会期中、自社ブースのアテンドを行うものとします。

○その他 共同出展も可能としますが、組合員に限ります。

その他出品に際し、ご不明な点は総務1課へお問い合わせください。

求評会バス 見学会

組合員及び組合員機業の従業員を対象とした求評会見学用バスを運行します。参加者には参加料2,000円のご負担をお願いいたします。参加募集の詳細につきましては、渉外係にお問い合わせください。また組合HPでもご覧いただけます。

●丹後ファッションウィーク事業●

産官学連携事業

産地交流事業を実施

関西圏のファッション関連校と連携し、学生達に生産者との交流を通じて丹後織物の伝統や技術を肌で感じてもらい、素材や産地の理解度を高めた上で作品制作に取り組んでいただくため、8月に教員及び学生計47名が丹後産地を訪れ、2日間にわたる交流事業を実施しました。

昨年に引き続き上田安子服飾専門学校、京都造形芸術大学、ディーズファッション専門学校、東洋きもの専門学校の4校を招致。初日は組合で産地の概要説明、加工場見学、生産者のものづくりについての講義・意見交流などを行いました。翌日には織物工場の見学・染色体験を実施し、丹後織物についての理解及び知識を深めました。普段目にするのではない織物の製造工程などを見学できたことで、学生からは、

長年蓄積された技術にさらに新たな技術が加わり感動した、大変貴重な体験ができ作品作りに活かして行きたいとの意見も聞かれました。

今後の学生たちの作品製作に期待がかかります。



女子美術大学の学生が考案した 丹後織物製品開発・販売促進事業

「丹後ちりめん製品開発成果発表会」を開催

製品アイデアの利用者を募集します

昨年までの3年間、丹後ちりめんのPRおよび需要拡大を目的に、美術・デザイン業界を担う若者を養成している女子美術大学短期大学部と連携して、丹後ちりめんを使った雑貨類の製品開発に取り組んできました。

このたび、産地交流事業として9月5日(金)～6日(土)の2日間、教員および学生16名が丹後を訪れ、美大生のセンスを生かした開発製品と、これまでの取組の成果を広く地域の関係者に公開するため、同短期大学生による成果発表会を開催し、プレゼン及び意見交換会を実施しました。

平成25年度に発案されたポリチリを使用した制作品(3年間で137点)

ポーチ、クラッチバッグ、エコケース、ワンピース、風呂敷等

本事業のアイデアを利用して製品化を図る事業者を募集します。

製品・デザイン画をご覧になりたい方や利用したい方は、左記までお問い合わせください。



丹工 総務1課 振興係
TEL: 0772-68-5302

丹後織物総合展 Tango Fabric Marche

会期 平成26年10月30日(木) 10:00～18:00
10月31日(金) 10:00～17:00

会場 ヒルサイドテラス アネックスA棟 (東京都渋谷区猿樂町29-21)
丹後に於いて企画・製作された代表的な織物の数々が代官山ヒルサイドテラスに集結します。

出展業者: (株)一色テキスタイル・(株)糸利・柴田織物・創作工房糸あそび・
民谷螺鈿(株)・田勇機業(株)・丸幸織物(有)・宮眞(株)・安田織物(株)・
(株)山藤・由里機業場

くろーずあつぷ・丹後人！

★サンプル整経機 廻して24年



後藤 繁夫さん（京丹後市網野町）

平成元年、当時総合産地化を目指し広幅織物の事業拡大を掲げ、その環境整備の一環としてサンプル整経機の導入が要望され、組合員有志からの寄付金と併せて加工技術研究所に配備されました。

平成8年に組合からサンプル整経組合に運営が移管され、設置場所も旧研究棟に移動しています。広幅織物・服地などのマス見本や反見本など、商品開発の見本作りに欠かせない設備として活用され、現在も機屋さんの要請に対応しています。そんな整経機を動かす運転者の後藤繁夫さんにスポットを当て、色々と苦労話などを聞かせていただきました。

「平成3年、組合の加工技術研究所に勤務していたときにこの整経機を任されたが、その頃は絹関係で近辺にサンプル整経機を設置しているところがなく、また操作等も2日間メーカーから指導を受けただけだったので、独学でやらなければならなかった。作業面では細い糸の糸切れなどで機屋さんに迷惑を掛けたり、思うように機械が動かず、とても苦労した。」と当時を振り返る。「メンテナンスも、メーカーが関東の桐生にあり修理に時間が掛かるというところで、懸命に勉強した。」と。その努力の甲斐もあって整経機に關してかなり熟知するまでに至ったとのこと。

「平成8年に組合を



整経機はNAS-7S型2000（1989年式）
製造メーカー：(有)スズキワーパー

退職したが、そのときにサンプル整経組合が設立され、運営が移管されてからもサンプル整経組合の職員としてこの機械の運転を任せられ、延べ24年間携わっている。以前は多くの方の利用があり週6日間稼働していたが、年々作業量が減少し2年ほど前から週3日になっている。業界も厳しくなり、商品開発をするのにもなかなか余裕がないのでは・・・と下降傾向にある現状を憂う。

今後、蓄積されたノウハウの継承について尋ねると、「機械が古いことと、糸種も多くまた機械・電気関係のことが分からないと修理もままならず、若手に教えるにも時間が掛かるので継承は難しい。」と。今後、また一つ丹後の技術が失われることが懸念される。

組合員さんに対して、「新規商品の開発に是非使ってほしい。」と後藤氏。整経機は小幅から広幅まで対応できる。商品開発をする際、遠慮なく相談をかけてくださいとのことでした。

【お問い合わせ先】

TEL：0772-644001

組合職場訪問② Introduce 中央加工場機械部



今回の職場紹介は、中央加工場機械部でテンターを駆使し織物の文、幅出し作業を担当する加藤宏樹さんをご紹介します。

Q 「機械部」ではどんな作業をしていますか。

A 主にテンターで幅や丈出しを行っています。テンターは、生地を所定の幅に整えるために使われる幅出機のことです。生地の端を固定し湿気を与えて幅を出しながら乾燥させ丈や幅をセッします。現在、品種としては広幅やネクタイを任せられており、1日に500反ほど幅出ししています。

Q 今までを振り返って一言お願いします。

A 私の出身は奈良県ですが、結婚を機に丹後へ来ました。丹後に来たのは、妻の実家があることもありですが趣味である釣りが堪能できると・・・（笑）
組合には岩滝加工場で6

Q 気を付けている点は？

A 製品に対して、丈や幅を間違えないことと事故なく幅取りするよつに気を付けています。

Q これからの目標、抱負は…

A 中央加工場にはテンターが5台ありますが、品種によつて分かれていきます。その全てを覚えて操作できるようにすることが当面の目標です。

Q プライベートでは、何をしていますか？

A 休みは釣りに行くか、子供（小4、小3・ともに女の子）と買い物に出掛けています。

大きな身体で所狭しと動き回り、作業をこなす34歳。これからも頑張ってください。

丹後の職人さんを推薦して下さい!

組合では、織物業に永年従事し、特にその技術が優秀で卓越し他の模範となる職人さんを表彰し、技術継承の一助になることを願って新たに認定制度を設けました。企業からの推薦をお待ちしています。

平成26年度「丹後の職人」認定制度 (募集要領)

- ＜目 的＞ 丹後織物業界において、織物の製造および関連する工程に永年従事し、卓越した技術を有する技術者を認定表彰し、丹後ちりめん等の製造工程における蓄積された職人技を広く知らしめることにより後継者の良き模範となり、同時に丹後織物の付加価値をアピールすることによって商品価値を高めることを目的とする。
- ＜募集期間＞ 平成26年10月1日～平成10月31日
- ＜認定資格＞ ①職種における経験年数は20年以上とする。
②丹後織物に関連する製造工程に現に従事する者。
③上記①②を満たし、なお卓越した技術により蓄積された職人技を広く知らしめ、後継者の模範となり得る者。
- ＜対象となる職種＞ 燃糸工 整経工 織布工 機拵え 経継ぎ 織機調整
精練・染色加工 他認定委員会が認める職種とする
- ＜推薦方法＞ 推薦は本組合、組合員企業、関連団体等とする。
- ＜提出先＞ 本部総務1課
- ＜審査＞ 別途認定委員会にて審査決定を行う。
書面審査および必要に応じてヒアリング、現場作業確認を行う。
- ＜認定表彰＞ 認定者には、認定証および副賞(記念品)を贈り組合員等に広く公表する。
毎年職種枠を考慮しながら5名を限度に認定する。

本制度に係る募集要項・申請書様式は本部に備え付けております。また、組合HPよりダウンロードで入手できます。

丹語

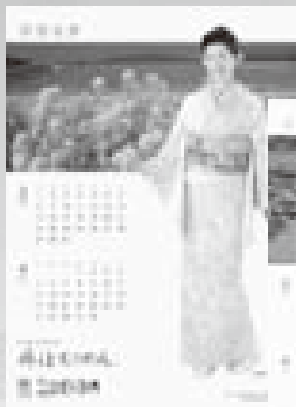
●日本最大の絹織物産地、また最大の地場産業を形成し、

丹後の経済基盤を支えてきた「丹後ちりめん」であるが、不思議とその歴史、生産工程、織物資料など全貌を見渡せる資料館、ミュージアムというものがこの地域に無い。本来なら業界を統括する織物組合が担ってしかるべきだが、話は持ち上がったも具体化はしてこなかった。●何故なのかその訳を推察してみると○丹後織物業者の気質から、後ろを振り返ることがなかった。明治、大正、昭和と時代を重ね、特に戦後の呉服ブームから高度成長の波に乗り、増産の勢いにまかせ古い設備、道具、織物などがどんどん更新され合理化されて廃棄されていった。残すという発想より、新たなものへどんどん取り替えていった。○また昭和以前の資料については、丹後震災による毀損、焼失により歴史が寸断されている。○かつて丹後地域の1市10町の広範囲に生産地がまたがり、織物品種や生産形態などの地域特性があり集約が困難であった。○機械設備、道具等は嵩だかいものが多く、また織物資料なども管理面で保管場所の確保が問題であった。○産地が行け行けどんどの時は余剰資金は設備投資や資産形成に廻り、さてといったときには資金の逼迫から計画が進まない、今まさにその時か。●産地の縮小が進み、その歯止めがなか、かからないなかで、丹後ちりめんを歴史遺産にと、まことしやかに囁かれる時代になった。産業遺産という評価に喜ぶべきか、悲しむべきか・・・

2015年丹後ちりめんカレンダー & 年賀はがき完成!!

組合では11月から
販売を開始します。
ご予約はお早めに。

2015年はTVなどで活躍中の「佐藤藍子」さん、「北川弘美」さん、
「尾花貴絵」さんとともに彩りを添え華やかにお届けします。



○ポスターサイズ…四季を愉しむ季節悠歩”きものならではの彩り鮮やかな装いととも、丹後地方の風光明媚な四季折々の景色を紹介。見応えのある大画面サイズ
(90cm×61cm) 720円 (税込)



○レギュラーサイズ…「丹後ちりめん おもてなし暦」日本の美しきおもてなしの心と華やかなきものとの競演。扱いやすいコンパクトサイズ
(75cm×34cm) 360円 (税込)

○年賀はがき (私製はがき)
1枚 12円 (税込)



店名刷り込みをされる場合は直接印刷会社への発注となります。組合本部・加工場に置いてある申込用紙にてお申し込みください。印刷会社に在庫がなくなり次第、店名刷り込みは終了いたします。

店名刷り込み申込締切：10月3日 (金)

店名の刷り込み代：各サイズ100部以上は無料、99部以下は3,000円

お問い合わせ：丹工 総務1課 TEL：0772-68-5211

広告

地域資源・技術革新企業 (SBIR) 認定事業

単動式電子・新型ダイレクトジャカード

コントローラ	佐和・カヤバ (ダイレクト・電子ジャカード 対応)		
新型ダイレクトジャカード	コントローラ		FD対応
	AO	Light II	たすけ
特許取得：特許第4747308号 タイプ (西陣・桐生・エンドレス)	・FD・USB・LAN 対応 ・OOS・OOS II 対応 ・紋彫修正 可能 ・OOS⇄CGS II 双方向変換可能	・USB 対応 ・OOS II 対応 ・タッチパネル	・FD⇄換わるUSB誘込装置 ・対応：CGS II・CGS ・USB変換ソフト添付 ・一柄の印枚数は無制限

単動式 電子ジャカード
(特許取得)

メカジャカードを電子化：横計の織り・振動による「針落ち」を、ブッシュレーパーで解消
… ホームページで試作実機映像がご覧頂けます …

開発・製造・販売 **CSS株式会社**

〒483-0903 愛知県岩倉市菅野町709番地

TEL (0587) 37-9131 FAX (0587) 37-9061

URL: <http://www.css-corp.jp/> E-mail: ao@css-corp.jp



売ります 買います

お問い合わせは渉外係まで【渉外係 0772-68-5307】

①物品名 ②メーカー ③使用程度 ④希望価格

買 い ま す

A ①水クーラー
③程度良のもの
④相談の上



インフォメーション

無地ちりめんの丹後の草分け的な機業である(株)隍利(京丹後市大宮町)が、このほど事業廃止するに伴い、代表者より今日まで蓄積してきた織物技術、設備改良等に係るノウハウを公開、継承しておきたい、同時に撚糸機等設備の部品、備品等も希望者があれば対応したいとの申し出がありました。

丹織技術研究会(会長:井上肇)との共催により見学会を開催いたしますので、本紙面にてご案内いたします。

日時: 10月1日(水) 午前10時より

場所: 株式会社 隍利 工場において
(大宮町口大野 9 1 5)

所在地等詳細は組合ホームページ(インフォメーション)をご覧ください。 <http://www.tanko.or.jp/>

【問い合わせ先】

丹後織物工業組合 総務1課

京丹後市大宮町河辺 3 1 8 8

TEL: 0772-68-5211

丹織技術研究会

京丹後市峰山町荒山 2 2 5

(京都織物・機械金属振興センター内)

TEL: 0772-62-7400

編集後記

○今年の夏は台風や大雨で土砂崩れや河川が氾濫するなど、日本各地で自然災害が猛威を振るっている。近隣では、福知山市、綾部市で大きな水害が出たばかりである。丹後でも土砂災害等の警戒区域は多々あり、いつ何が起ころうともおかしくない。防災に對し万全な体制を整えなければならない。

○今年は丹後機業織物実態調査の年です。9月1日より、組合職員が調査員となり各組合員機業を訪問しています。従事者数、製織品種、台数等を訪問調査いたしますので、調査員が立ち寄った際は、ご協力のほどよろしくお願いいたします。